

05

BOOK-GUIDE

多伎地域の本



多伎地域は、日本海に沈む美しい夕日が映える海辺の町です。

きれいな海岸を活かし、健康と文化をテーマに、道の駅キララ多伎などの交流施設や、いちじく温泉、マリントラソ出雲などの保養施設、また見晴らしの丘公園や手引ヶ丘公園などの整備を進め、快適な海浜公園の創造に向けて取り組んでいます。

また、夏の間では、水泳とランニングを組み合わせた「スイムラン in 多伎」が、全国の多くの鉄人を集めた一大イベントとして開催されています。

さらには、国指定史跡となった田儀櫻井家たたら製鉄遺跡は、大きな価値をもつ新たな重要産業遺産として、これからの史跡整備とその活用が望まれ、石見銀山とも連携した今後の観光資源としても大いに期待できます。



●たきちょうし

多伎町誌

著者名 多伎町誌編集委員会 編

発行者 多伎町役場 出版年 昭和53年(1978)

歴

多伎町合併20周年を記念して発刊された町誌です。

本書は、合併後の多伎のあゆみについて、「総説」、「行政」、「産業・経済」、「建設」、「交通・通信」、「教育と文化」、「社会福祉」、「保健衛生」の8部門に区分して記載しています。

特に、町民との関わりの深い、教育、文化、社会福祉については、ページを割いて重点的に詳述しています。

なお巻末には、国史、県史と対比させた多伎町誌年表を付けています。



●たきちょうふるさとじてん

多伎町ふるさと事典

著者名 多伎町ふるさと事典編集委員会 編

発行者 多伎町役場総務課

出版年 平成17年(2005)

事

2市4町合併に伴う、多伎町閉町記念として発刊された事典です。

本事典は、多伎町に関連のある事項を網羅することに努め、それらを五十音順に配列して解説したもので、個別の項目にはふりがなをつけるとともに、必要に応じて参考文献も掲げ、詳しく知りたい人のために便宜が図られています。

また巻末には、多伎町資料編として、歴代町長など三役、議長や人口・財政・産業などの各種統計の概要を付けています。

●ときをこえて しゃしんでつづるたきちょうのれきし

刻を超えて写真で綴る多伎町の歴史

著者名 多伎町歴史写真集編集委員会 編

発行者 多伎町役場

出版年 平成4年(1992)

写

歴

多伎町合併35周年記念事業のひとつとして企画された歴史写真集です。

本書は、町民から提供された約600点の中から厳選した写真を産業・教育・福祉など8部門に区分して編集しています。

そこには、今は見ることのできない先人の足跡があり、町民にとっては懐かしい、貴重な写真集といえます。

なお巻末には、年表のほか、多伎町のイメージキャラクター（いちじくん）や、町の木、町の花、町の魚、多伎町民歌を載せています。

●みらいへのでんしょう

未来への伝承

著者名 多伎町文化財専門委員 編

発行者 多伎町教育委員会 出版年 平成5年（1993）

芸

未来に継承すべき多伎町の主な文化財をまとめた刊行物です。

県指定文化財を含む21件の主な文化財には大きな写真とその解説が付けられ、巻末には文化財の種別ごとに網羅した文化的資料一覧表と文化史年表が付けられています。また、31件の文化財の所在地図もあり、文化財を知るための便宜が図られています。



●たきのさとのこうこがく

多伎郷の考古学

著者名 松尾充晶

発行者 多伎町ライオンズクラブ

出版年 平成16年（2004）

歴

多伎町ライオンズクラブ認証25周年を記念して発刊された郷土誌です。

これまで語られることがほとんどなかった多伎町内の史跡、埋蔵文化財について、時代順にわかりやすく解説した本書は、フルカラーの写真やイラストを多く取り入れ、楽しみながら理解できる刊行物です。

小冊子ではありますが、凝縮された内容ですので、多伎のいにしえを知るうえではとても頼りになる一冊です。

●たきのあじ

たきの味

著者名 多伎町婦人の会ほか 編

発行者 多伎町 出版年 昭和61年（1986）

技

多伎町合併30周年記念事業の一環として、米の消費拡大総合対策事業を進めるなかで、婦人の会を中心に編集、発刊されたものです。

本書は、多伎町に古くから伝えられてきた伝統的な郷土料理や家庭の自慢料理など157種を、穀類、豆類、野菜、魚海草類、果実類、その他の6種類に区分して、多種多様なそれぞれの料理について、材料、作り方、食べ方などを説いています。なかには、勘どころとして、料理法のコツも教えるなど、小さな工夫もみられ、台所の友としてすぐにも活用できる一冊です。

●たぎさくらいけ

田儀櫻井家

発行者 多伎町教育委員会

出版年 平成16年(2004)

技

田儀櫻井家のたたら製鉄に関する基礎調査報告書です。これまで存在は知られていなかったものの、十分な調査が行われたことのない田儀櫻井家のたたら製鉄について、はじめて本格的な調査が入り、その価値が飛躍的に高まりました。本書は、この近世産業遺産について、文献史学・考古学・民俗学などの専門家による総合調査の結果をまとめたもので、国史跡として指定を受ける歴史的価値を見出した貴重な記録といえます。



COLUMN 6

出雲の文化財

芸

文化財は、昭和25年に施行された文化財保護法によって、大切に保護、活用すべき、国民共有の財産と意義づけられました。それは、有形文化財、無形文化財、民俗文化財、記念物に大きく分けられますが、出雲市には、国・県・市の指定文化財(平成22年6月29日現在)があわせて212件あります。

出雲市の指定文化財としては、出雲大社本殿(国宝)をはじめとする重要建造物群や秋野鹿蒔絵手箱(国宝)、白糸威鎧(国宝)などの工芸品、西谷墳墓群(国史跡)、経島のウミネコ繁殖地(国天然記念物)など数多くあり、地方都市としては国内有数の文化財の宝庫といっても過言ではありません。また、指定文化財のほかにも、登録文化財として、いなさ会館(建造物)、出雲の藍板締め染め用具及び製品(有形民俗)など4件があります。

<出雲市(全域)>

決定版 出雲・雲南ふるさと大百科

発行者 郷土出版社

出版年 平成20年(2008)

*巻末の一覧表

<出雲市(地域)>

出雲市の文化財 第1集

発行者 出雲市教育委員会

出版年 昭和31年(1956)

*第2集、新版も有り

平田市大事典

発行者 平田市役所

出版年 平成12年(2000)

大社町の文化財

発行者 大社町教育委員会

出版年 昭和62年(1987)

未来への伝承

発行者 多伎町教育委員会

出版年 平成5年(1993)

湖陵町誌

発行者 湖陵町

出版年 平成12年(2000)

佐田町史

発行者 佐田町教育委員会

出版年 昭和51年(1976)